

9. 小児科 臨床研修プログラム (必修科)

1. 研修目標【GIO】

成長期にある小児の精神的・身体的な健康上の問題を全人的に把握できる能力を身につける。

2. 研修期間 4週～44週

(ただし4週の場合は全ての研修は出来ないため、新生児を除く小児一般疾患を主に研修する)

3. プログラム指導者と参加施設

プログラム指導者 小児科 増江 道哉
基幹病院 中部国際医療センター

4. 行動目標【SBOs】

1) 小児科における基礎的診察法の修得

- ・ 病歴の聴取、トリアージ
- ・ 視診、聴診、触診、舌圧子による診察法

2) 小児疾患の診断と治療の理解

- ・ 小児一般疾患（気道感染症、ぜんそく、胃腸炎など）の診断と治療が出来る。
- ・ 不明熱、紹介患者など原因不明の疾患の診断のための計画が考えられる。
- ・ 小児救急の症候別（呼吸困難、痙攣など）対処法が実施出来る。
- ・ 短時間で適切な症例提示が出来る。

3) 小児科の基本的検査の適応と理解

- ・ 血液・尿検査
- ・ 放射線・生理検査（レントゲン、CT、MRI、心電図、脳波、エコーなど）

4) 小児科の基本的手技の修得

- ・ 採血
- ・ 注射・点滴

5) 健診・予防接種の理解と実施方法の修得

- ・ 健診・予防接種の意義について説明できる
- ・ 健診・予防接種を適切な方法で施行できる
- ・ 予防接種の副作用について説明できる

5. 指導体制【LS】

- 1) 研修医は、常に上級医のもとで行動することを原則とする。特に危険を伴うと考えられる検査、処置は担当上級医の指導下で実施する。
- 2) 救急患者が搬入されたときは、出来るだけその初期診療から関係を持ち診療する。
- 3) 休日・時間外の緊急時には積極的に参加し、小児科医の実戦的救急処置について学ぶ。

6. 評価方法【Ev】

指導医は、自己評価結果を随時点検し、研修医の到達目標を援助する。

7. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後	神経外来 乳幼児外来	予防接種外来	神経外来 乳幼児外来	循環器外来		循環器外来 神経外来
夕方						
備考	<p>月～土まで共通して以下のスケジュール</p> <p>8時30分～9時：正常新生児の診察</p> <p>9時～10時：小児科医の病棟回診を見学→受け持ち患者の診察</p> <p>10時～12時：病棟処置→外来処置（採血、点滴など）</p> <p>外来実習（見学→初診患者の診察→入院した場合は受け持ち患者になる）</p> <p>12時～17時：救急患者診察を優先的に実施（上級医がフォロー指導する）</p> <p>12時～13時30分：病棟入院カルテ回診。当日の検査結果およびアセスメントをカルテに記載</p> <p>13時30分～15時：小児科医の病棟回診を見学→受け持ち患者の診察</p> <p>15時～16時45分：上級医からの質問課題を調べる。外来で希望する専門外来を見学。病棟でカルテ回診</p> <p>16時45分～：受け持ち患者のプレゼンテーション・ディスカッション。質問課題の発表</p> <p>英文論文の抄読会、症例検討会を1回/月実施</p>					

毎週土曜日は小児科紹介患者と入院が最も多いので、土曜日出勤して平日1日を休日にした研修も可。